



里地里山保全・再生の特徴的取組 個票 A (対象地域の概況)

NO.138		都井岬	生物地理区分		シイ・カシ萌芽林		
			地域区分		中山間地		
所在地	都道府県	宮崎県	地形条件	1.山地	2.山麓部	3.丘陵・台地	
	市町村	串間市		4.低地	5.その他()		
	集落名称等	大納	環境要素	1.二次林	2.草地	3.水田	
		4.畑		5.小川・水路	6.ため池		
				7.池沼・湿地	8.社寺林	9.人工林	
				10.その他()			

環境要素(対象とする地域に含まれる環境要素)

:面積割合が最大のもの :それ以外の環境要素

自然環境・景観保全、国土保全関連の法指定状況	自然環境、景観、文化等の観点からの選定・評価
・日南海岸国定公園	・天然記念物「岬馬およびその繁殖地」 ・特定植物群落(環境省 自然環境保全基礎調査)
特徴的な動植物や生息環境	対象地の景観の現状
草原:岬馬、オキナグサ等	観光パンフレット等に写真が使用されている、風景探勝や撮影の来訪者が多い

	
撮影時期:2011年 写真の説明:2011年度本年度第1号春駒 小松ヶ丘山頂付近	撮影時期: 年 月 写真の説明:都井岬に咲くオキナグサ。オキナグサは、絶滅危惧 類として植物レッドデータブックに掲載されている。

NO. 138		都井岬		取組主体	1.地域コミュニティ(集落・組合等)
所在地	都道府県	宮崎県			2.団体・企業・学校等
	市町村	串間市			3.行政による支援施策の活用
	集落名称	大納			4.多様な主体が参加・連携する組織体
				5.その他	

取組主体	主な主体の名称		都井岬観光案内所、御崎牧組合		
	その他の主体の名称				
目的 :主 :その他	1.農林業を通じた里山や草地の利用(管理)の維持・活性化(伝統的なものも含む)				
	対象・取組内容		御崎馬の放牧地として活用されている。そのため、春には野焼きを行い、草地を維持している。また、放牧そのものが草地景観の維持にも繋がっている。		
	支援措置				
	3.環境教育や自然体験、エコツーリズムの場としての利用				
	自然観察会		*	都井岬のガイドを観光協会が実施	
	環境教育・学習活動				
	里地里山体験・環境保全				
	農林業体験活動				
	エコツアー				
	その他				
5.地域の良好な景観の保全・修復					
取組内容		【野焼きと放牧】 放牧地の維持のために「野焼き」を実施しており、草原景観が維持されている。草原が維持されてきたことで、草原性の生き物の生息場所の保全もなされている。			
6.里地里山の伝統的な生活文化の知恵や技術の継承					
対象	生活行事	*	野焼きと放牧		
	資源利用技術				
	その他				
取組内容		江戸時代は藩の牧野として使われてきた都井岬は、明治期になると、「御崎牧組合」という地域の集落の人によって作られた団体によって、馬を育てるために火入れや、放牧などの生業が行われるようになった。現在も「御崎牧組合」によって放牧や火入れが行われており、野焼きの技術も受け継がれている。			
連携・協働による取組内容・役割分担等		「御崎牧組合」が、早春に放牧地の維持のために野焼きを実施しており、都井岬観光案内所の職員も野焼きの作業を支援している。			
取組の特徴や強調したい点		伝統的に行われてきた御崎馬の放牧と野焼きによって、馬が草を食む牧歌的な景観が作り出されており、多くの観光客が訪れている。			

取組の概要	伝統的に行われてきた野焼きや放牧によって草原を維持することで、草原の景観や生き物を保全	課題グループ
事例の特性	体験・交流空間の提供、生息・生育地保全に必要な維持管理の継続、管理維持活動の継続・継承	農林業 野生生物 景観文化
取組の中で他の地域の参考となる点	野焼きや放牧といった伝統的な取組を継続することで、地域の魅力ある景観を維持しており、主要な観光資源となっている。	